

1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

教科	芸術科	科目	絵画	単位	1	単位
対象コース	美術コース	コース	対象クラス	1 年	8・9 組	
使用教科書	高校生の美術1 (日本文教出版)					
使用副教材						

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

学習目標 ：この科目を学習して何を身につけてほしいのか 絵画では絵画表現全般を実習する。油彩、透明水彩による着彩等、各画材の組成と特性を知り、基本的な使用法を学ぶ。 デッサンで実習した表現を色彩に置き換えた制作を習得する。 2年次以降に制作する大型の作品、また自由制作につなげる準備段階として、多様な絵画表現を目標として学習する。
学習内容 ：この科目で学習する大まかな内容 「スケッチ演習」 年間1回の課題。1学年は構図の取り方等、風景画の基礎と透明水彩絵具の効果的な使い方を学ぶ。 「着彩・静物」 透明水彩絵具と不透明水彩絵具の基本的使い方と違いを実習。確かなデッサン力と色彩表現を学ぶ。 「油彩・自画像」 油彩画の基本的使い方を実習。自画像をモチーフに、人物画を学ぶ。
学習方法 ：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1)学校 主に授業時間内で実習し、放課後等、課外時間も有効に使って学習する。 スケッチは美術コースの行事、「校外スケッチ実習」で2日間、野外に出かけて制作する。 その後各自で加筆して仕上げる。 (2)家庭 無し

3 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

評価方法 ：何を使って評価するのか 完成した作品によって評価する。 技術的、創造的に優れた作品を評価する他、完成するまでの課程、取り組みの姿勢を見る。 各自の力量に合わせた努力度、熱心さ等を加味し、平常点として評価に加える。
評価における定期考査の割合 0 %

4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

評価の観点 ：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1)関心・意欲・態度 課題に取り組む意欲、態度 (2)思考・判断 画面全体を構成する総合的判断力 (3)技能・表現 構成力、色彩感覚、表現力、描写力 (4)知識・理解 透明水彩、油彩、アクリル絵具等、画材知識の理解度

【SDGsの各ターゲットについて】

ちょっとだけ詳しく内容を知りたい方は、アイコンをクリック



【道徳教育について】

高校の道徳教育についてちょっとだけ知りたい方は
アイコンをクリック



※FSVに接続してる場合のみ

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーしてご使用下さい

SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン



下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーして下さい

SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン